

意見交換会概要

日時	平成25年 6月 11日（火） 19 : 30 ~ 21 : 00
場所	日置谷地区公民館（日置谷地区座談会）
参加者数	約15人
出席者	木村次長、校区審議室（小谷、清水）、小林支所長、土橋副支所長、房安青谷町自治連合会会長ほか

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	校区審議会委員の中に西部地域の委員は含まれているのか。H18年から校区審議を進めているというので、経過を確認したい。1月の「中間とりまとめ」で青谷中学校の統廃合の問題が突然出て来て、青谷の住民はびっくりしたことと思う。統合にかかる話があったなら、少しずつでも住民に情報提供するべきだった。1月に「中間とりまとめ」を公表し、年度末に結論を出せというのはあまりにも性急すぎる。
参加者 A	中学生が学校に通うのに適正な距離はどれくらいなものなのか。文科省に定められていると思うが何kmなのか。青谷地域は特殊な地形で、桑原（クワバラ）や小畑（オバタ）から青谷までは8km。統合となればそれ以上の通学距離となる。「校区審議会委員の中に西部地域出身の委員がいるのか」と聞いたのは、この青谷の特殊な状況が分かっているのかを確認したかったから。校区審議会が規模のみで議論しているが、それだけではない。地形的、距離的なものも考慮されるべき。深夜にやっていたマツコデラックスの番組に平井知事が出演していたが、統計では何十年後には鳥取県の人口はゼロになると言っていた。人口や学校規模ばかりに焦点をあてるのはいかがなものか。
参加者 B	今回話題としているのは気高郡のことだが、資料は「西部地域」という表現を使っている。「西部地域」とは千代川以西のエリアを示す言葉であると思っている。西部地域とするなら末恒、湖山、吉岡も含まれるのでそれらの現状も聞きたい。
参加者 B	事務局は西部地域が旧気高郡というが住民は知らないし、誰も納得しない。こんな表現を使うのは、気高郡の委員も入れないから起こる。「地域を知らない者がいい加減なことをやっている」と思われるんだ。判り易く旧気高郡、旧青谷町、旧気高町、旧鹿野町と書いた方が分かりやすい。説明も市とか教育委員会とか校区審議会とか出てきて、何処が主体の話なのか分かりにくい。学校のあり方の具体案も出さず、抽象的な投げかけばかりで、住民に責任転嫁しているともとれる内容だ。学校は地域にある方が望ましいということは誰もが思っていることで、そこから検討するなら、具体的な案が示されないと意見交換もない。いい加減な内容ではなく、具体的な案がなければ議論できない。
参加者 C	中学校を改築すると金がかかるため、慎重に議論したいという。年度末まで議論するのはいいが、子供たちのため、早く安全な学校にして欲しい。方法はいろいろあると思う。鳥取駅前に10億円もかけてアーケードを作るなら、早く学校を改築すべきだ。
参加者 A	市報に市長と鳥取ふるさと友愛会会長との対談が出ていた。中でもUターン、Iターンを進めると発言し、市としても中山間地域振興課が取り組んでおり、「鳥取はいいところだから、来てください」とPRしている。県外の方からすれば自然豊かでもいいところだが、中学校もない地区へ住みたいと考えるだろうか。事実、UターンでなくJターンで住む人は増えており、知人も地元でなく美萩野に家を建てたと話を聞く。将来的に考えたら、保育園や小学校があったとしても、中学校がない土地には人は住まなくなる。私は青谷に中学校があった方がよいという意見だ。

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 D	<p>H18年以後、校区審議会が校区再編に取り組んでおり、今回統合した用瀬、佐治の中学校統合も校区審議会が絡んでいる。校区審議会が佐治、用瀬の統合を決定して、統合ありきで推し進めたと聞いている。校区審議会の中では佐治、用瀬の統合は既定事実であったが、この統合構想から漏れた河原中学校は耐震化出来ている。すべてが校区審議会のシナリオであるという。</p>
参加者 D	<p>河原中学校は耐震診断の結果、危ないから耐震改修を行った。青谷中学校も同様、耐震に弱いのなら早急に耐震化をして欲しい。今まで改築なり耐震補強で議論してきたなら、1日も早く取り組むべき。また佐治と用瀬では、学校の件で地域審議会が協議したと今説明を受けたが、これまでに青谷、気高、鹿野の3町の地域審議会が話し合いの場をもった事実はない。今回の学校のあり方について、3町の地域審議会でも検討されてみてはどうか。教育委員会が地元で意見を聴く前に、教育委員会が3町の地域審議会に提案してみるのいいのではないかと。</p>
参加者 D	<p>公共施設や学校が無くなることは過疎化が進む要因である。過疎化が進んだり人口が減少すると、学校の次は青谷から総合支所が無くなり気高に集約されると、まことしやかに噂されている。少なくなると何もかも無くなり、青谷は地盤沈下するばかり。生徒数が少なくなるから統合するというのは短絡的である。市が本気になって地域活性化の方針を出すとか施策を進めるとかが必要ではないか。中学校を無くす代わりに、新たな公共施設を作るとか代替案がないと町民は納得しない。</p>
参加者 E	<p>中学生と高校生の親である。上の子が中学生の時には200人位の生徒がいた。今は150人位の生徒数となっている。今より50人多かっただけだが、クラスも人数はいるし学校の活気も比べものにならないほどあった。子供の数が少なくなっていくことは仕方がないが、資料に載っているメリット、期待される効果は子供にとっては大変魅力的なこと。通う子供たちが楽しい学校であったなら、通学距離が長くとも我慢できるだろうし、事実、付属中学にJRで通っている子供もいる。通う学校が魅力的なものであったなら統合もよい。子供たちが明るくなるなら地域にとっても暗いことばかりではなく、明るいことも待っていると思う。ひとつ提案だが、小中学生にアンケートを実施し意見も聞いてほしい。統合に誘導する内容でなく、今起きている状況や問題をあげて。小学生でも高学年になれば分別もあり、判断もできるのではないかと。</p>
参加者 F	<p>青谷中、気高中は耐震改築すれば予算が2倍必要になる。それなら「1校新築にすれば予算がかからない」というお金が絡んでの統合話なのか。青谷中、気高中の2校を改築することができるのか。青谷に残してほしいという意見にまとめれば、いくらお金がかかろうとも、青谷中は改築が行われるという認識でよいか。</p>